

日本学童保育学会 第 15 回研究大会

第 15 回日本学童保育学会研究大会実行委員長
北海道文教大学 宮崎 隆志

日本学童保育学会第 15 回研究大会は、北海道文教大学を会場にハイブリッド形式で開催されます。

北海道文教大学は 1999 年に設立されましたが、その起点は 1942 年に札幌市に設立された北海道女子栄養学校にあり、その後北海道栄養短期大学を経て、1988 年にはキャンパスを恵庭市に移転しました。現在のキャンパスは、最寄りの JR 恵庭駅から徒歩 10 分、新千歳空港から約 30 分の便利な場所にあります。研究棟からは恵庭岳から樽前山に連なる山並みを西に眺められ、東には夕張岳や遠くに日高山脈を見ることができます。少し足を延ばせば支笏湖やウトナイ湖もすぐです。

2023 年には「こどもの居場所づくりに関する指針」が出され、2025 年 1 月には放課後児童クラブ運営指針の改訂通知が発出されました。2016 年の児童福祉法改正によって子どもの権利擁護が施策の根幹に据えられ、学童保育や子どもの放課後をめぐる制度・施策の見直しも急ピッチで進んでいます。しかし、子ども・家族をめぐる課題は山積しており、本学会に求められる役割も一層大きくなっています。

多くの方が研究大会へご参加下さること、そして自由研究発表・自主企画に積極的に応募して下さいことを期待しております。生きとし生けるものの躍動を感じることができる初夏の北海道で、みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

■日 時：2025 年 6 月 14 日（土）12 時 30 分～
15 日（日） 9 時 00 分～

■会 場：北海道文教大学 8 号館

（〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央 5 丁目 196 番地の 1）

■日 程

6月14日(土) [第1日目]

12:30～ 受付 (1階ロビー)

13:00～15:30

課題研究Ⅰ 子どもの貧困が学童保育実践に問うもの

(8号館5階 851教室・オンライン参加)

【趣旨】

「資産倍増」が政策として掲げられ投資への関心が高まる一方で、物価高に追いつかない賃金水準の故に節約を余儀なくされている人々も増えている。ここ10年の間に限っても階層間格差は拡大傾向にあり、それは子どもの養育にも色濃く反映している。

放課後の生活空間としての学童保育には、子どもの生活世界の質的な差異が反映する。例えば余暇活動の質や休日の過ごし方は所得水準に応じて大きく異なり、外食なども含めて生活経験の格差は大きくなっている。その背後には経済水準のみならず保護者の働き方の多様化(ダブルワークなど)、あるいは保護者自身が抱える困難などの複数の要因が積み重なっている場合も少なくなく、家庭内でのケアの質の格差は急激に拡大しているように思われる。

指導員は、子どもたちの声や態度を通して、そのような問題状況に気づいている。しかし、子どもたちが自らの生活現実に向けて向き合うことを支えることはもとより、一方が羨望の眼差しを送るような状況にある子ども同士のコミュニケーションへの介入や働きかけの見通しを得ることは容易ではない。そこで個々の家庭の話題には触れない、持ち込ませないという「配慮」がなされると、結果的には子どもたちが直面している課題は放置されることになる。

この課題研究では、以上のような子ども・家族をめぐる格差・分断状況に対して学童保育実践の課題や方法をどう設定するべきかを考えてみたい。最初に、教育福祉論の立場から松本伊智朗氏(北海道大学名誉教授)に、北海道内の子どもの貧困状況について調査結果をもとにご報告頂く。続けて、お二人の指導員の会員から学童保育の実践現場に現れる子どもの貧困問題についてご紹介頂き、あわせて学童保育実践の課題について言及して頂く。以上の報告に対し、指定討論者の福田敦志会員から、子どもの貧困問題との関わりで学童保育実践の課題と研究課題について問題提起を行って頂く。

【報告者】

- ・松本 伊智朗氏(北海道大学名誉教授):子どもの貧困と子どもの世界
- ・指導員:格差の下にある子どもの声を聴く
- ・指導員:さまざまな背景をもつこどもの生活づくり

【指定討論者】福田 敦志(広島大学)

【趣旨説明】 宮崎 隆志(北海道文教大学)

15:45～16:45 自主企画

17:00～17:45 総会(8号館5階851教室)

18:00～20:00 懇親会(学生食堂)

6月15日(日) [第2日目]

9:00～受付 (1階ロビー)

9:30～12:00 自由研究発表(1分科会のみオンライン参加可能)

- ・発表時間は、個人研究(発表20分、討議10分)、共同研究(発表30分、討議15分)です。
- ・発表希望者は、後述する「自由研究発表申し込み方法」をご覧ください。

12:30～13:20 若手会員のためのラウンドテーブル

- ・運営担当:鈴木瞬(金沢大学)、松本歩子(京都教育大学)
- ・詳細は次頁をご覧ください。

13:30～16:00

課題研究Ⅱ 子どもの育ちを支える学校内学童保育を考える

～学校連携システム構築と空間活用の展望～

(8号館5階851教室・オンライン参加)

【趣旨】

学校内で運営されるようになってきている現状がある。学童保育の設置場所については、学校生活の緊張から解放されるために、放課後の居場所は、学校の外にあるのが望ましいという議論もある。また、学童保育が学校内に設置されることで、「放課後生活の学校化」が進むのではないかという指摘もある。

この課題研究では、学校内学童保育が直面している課題を共有し、学校施設を活用しつつも、子どもの豊かな育ちを支える学童保育のあり方を考える。

具体的な論点の1つは、学校との連携のあり方である。子どもに関する情報の共有や、学校施設の利用に関する連携は日々の喫緊の課題であるが、それも不十分な実態が散見される。子どもの成長発達をともに支えるためにどう連携すべきか、現場の対応に依存しない連携システムを展望すると同時に、「放課後生活の学校化」という視点からも学校との連携のあり方について議論したい。

2つめの論点は、学校内学童保育の空間と環境整備の課題である。空き教室活用やタイムシェア推奨に象徴されるように、学童保育にはとりにあえず余った空間があてがわれている感が否めない。ワンルームの教室空間では静動分離もままならず、専用の水回り設備も確保できていない事例も多い。また学校内学童保育にとって運動場は外遊び空間として不可欠であるが、自由に使えない実態もある。こうした現状を共有しつつ、子どもの育ちを支える居場所となるための施設整備、また学校設備利用の課題について考える。

加えて、学校とうまく連携するための実践例については、事前の情報収集により、当日、事例集を共有する予定である。

【報告者】

- ・住野好久氏(中国学園大学):学童保育に求められる役割と学校連携のあり方(仮)
- ・矢吹真子氏(岡山県指導員):小学校との連携システム確立に向けて(仮)
- ・塚田由佳里氏(同志社女子大学):学校内学童保育所の空間課題(仮)
- ・野坂真英氏(北海道指導員):北海道の学校内学童の実践から(仮)
- ・鈴木瞬氏(金沢大学):収集した学校との連携 各学童保育の課題と対応事例の紹介

【司会・コーディネーター】

- ・二宮衆一(和歌山大学)・小伊藤亜希子(大阪公立大学)

第2日目

12:30～13:20 若手会員のためのラウンドテーブル

(8号館4階841教室・オンライン参加)

福 武利 会員 (元大阪府指導員／佛教大学大学院・修士課程) より
「実践者が研究活動に関わる意義について考える」

今回は、実践者から研究へ歩み始めたきっかけとそこの学び、現在行っている研究から研究活動を続けていける環境確保における苦悩や葛藤などについて話題提供をいただき、「これからの学童保育研究」をすすめる実践研究者の在り方について真面目に議論したり、悩み相談などを行う場を目指します。

これからの学会活動を担い得る皆様、ぜひ積極的にご参加ください。

■ 大会参加費

□大会参加費(2日間) 会員3,000円 非会員4,000円 学生はそれぞれの半額。

(1日のみ) 会員2,000円 非会員3,000円 学生はそれぞれの半額。

※北海道文教大学の学生・院生は無償

□現地にて参加される方は、当日、参加費をお支払ください。おつりのないようご準備ください。

□オンラインでの参加を希望する方は、参加申込みを行った上で、下記の学童保育学会の口座に、6月11日(水)までに参加費をお支払いください。

【ゆうちょ銀行 総合口座 加入者名：日本学童保育学会】

・ゆうちょ銀行口座間の場合 → 記号：14130 番号：89883251

・他金融機関からの場合 → 店名：418 普通 口座番号：8988325

■ 大会参加申し込み (締め切り6月11日)

□大会に参加される方は、大会前日の6月11日(水)までに必ず事前に参加申し込みをして下さい。

□参加申し込みは右のQRコードで「参加申込フォーム」にアクセスして、必要事項をご記入下さい。

<https://forms.gle/TUdfSs3CuPWqbYSB7> (学会HPからもできます。)

□オンラインでの参加も可能です。ただし、オンラインでの参加の場合は、課題研究ⅠとⅡ、自由研究発表のオンライン分科会へのみの参加となります。オンライン参加希望の方は、「参加申込フォーム」にて申込み後、必ず参加費を事前にお支払いください。参加費の支払いを確認できた方へのみ、事前にZOOM情報をお送りいたします。6月11日(水)までに必ず参加申し込みと参加費の支払いをお願いします。

□なお、懇親会の参加をご希望される場合は、6月2日(月)までにお申し込みをお願いいたします。

第15回研究大会参加申込



■ 自由研究発表申し込み方法（締め切り5月7日）

- 自由研究発表者は、日本学童保育学会会員（入会申請中も可）であることが要件です。現在会員でない方で自由研究発表を希望する場合は、発表申し込みと同時に、学会入会申し込みをして下さい。学会入会申し込みについては、日本学童保育学会事務局にお問い合わせください。入会案内・規約・申込書等は学会HPでも入手できます。
- 発表希望者は、5月7日（水）までに以下の「発表申込フォーム」よりお申し込み下さい。
<https://forms.gle/UwXeB43ZtWDqeGmt5>（学会HPからリンクしています。）

■ 『発表要旨集』の提出について（締め切り5月28日）

- 自由研究発表者は、『発表要旨集』に掲載する原稿を作成し、5月28日（水）（必着）までに大会実行委員会宛にご送付下さい。
- 以下より、執筆要領をダウンロードし、その様式に従って作成して下さい。
<https://x.gd/ul1Di>（学会HPからリンクしています。）
- 作成した発表要旨は、下記の「自由研究発表要旨提出フォーム」にて提出ください。提出の際、2種類のファイル（ワープロの文書ファイルとPDFファイル）を送付してください。
<https://forms.gle/P6YBmqdnqRMdiFvp6>（学会HPからリンクしています。）
- 提出いただいた原稿は、そのまま発表要旨集に印刷させていただきます。
- 締め切りまでに提出されない場合は、掲載いたしませんので、ご了承下さい。

■ 「自主企画」について（申し込み締め切り5月7日）

- 研究大会の新しい試みとして、会員の企画によって学童保育研究・実践について交流する時間を設定します。登壇者は非会員も可としますが、大会参加費を支払うものとします。
- 企画希望者は、5月7日（水）までに以下の「自主企画申込フォーム」よりお申し込み下さい。
<https://forms.gle/w5QY4XdUQvN4Z35m6>（学会HPからリンクしています。）

■ 「懇親会」について（申し込み締め切り6月2日）

- 大会1日目6月14日（土）18時半から懇親会を行います。事前申し込みが必要です。
- 会場は同会場内学生食堂です。
- 参加費は、5000円です。当日会場にてお支払いいただきますようお願い申し上げます。
- 懇親会への参加希望者は、6月2日（月）までに、前ページの「大会参加申込フォーム」よりお申し込み下さい。
- 昨年に引き続き、交流企画を予定しております。ぜひみなさまふるってご参加ください。

■会場までのアクセス

〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1

・JR恵庭駅「東口」から直進徒歩8分で北海道文教大学正門に到着



1. 新千歳空港から【JR新千歳空港駅⇒JR南千歳駅⇒JR千歳駅⇒JR恵庭駅】

JR新千歳空港駅よりJR千歳線「快速エアポート」乗車。3駅目の「JR恵庭駅」下車後、東口より直進徒歩8分で北海道文教大学正門に到着

- JR恵庭駅まで快速「エアポート」で13分（快速エアポートは12分おきに運行しております）

2. 札幌駅・札幌市中心部から

- JR利用の場合

札幌駅から

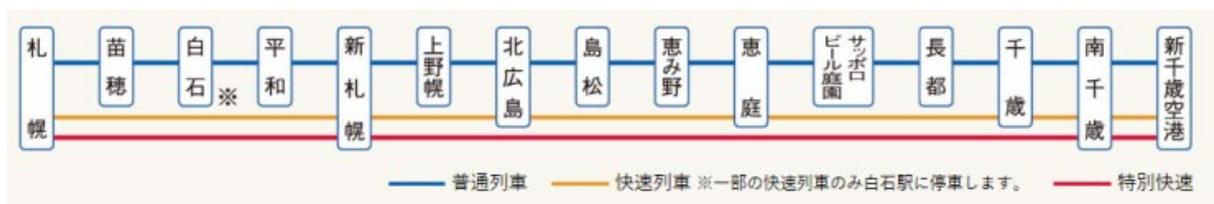
「JR千歳線」乗車。3駅目の「恵庭駅」下車後、東口より直進徒歩8分で北海道文教大学正門に到着

JR恵庭駅まで快速「エアポート」で24分（快速エアポートは12分おきに運行しております）

新札幌駅から

「JR千歳線」乗車。2駅目の「恵庭駅」下車後、東口より直進徒歩8分で北海道文教大学正門に到着

JR恵庭駅まで快速「エアポート」で15分（快速エアポートは12分おきに運行しております）



- 地下鉄ご利用の場合

南北線から

札幌市営地下鉄 南北線 さっぽろ駅下車後、JR札幌駅より「JR千歳線」乗車

「恵庭駅」下車後、東口より直進徒歩8分で北海道文教大学正門に到着

東西線から

札幌市営地下鉄 東西線 新さっぽろ駅下車後、JR新札幌駅より「JR千歳線」乗車

「恵庭駅」下車後、東口より直進徒歩8分で北海道文教大学正門に到着

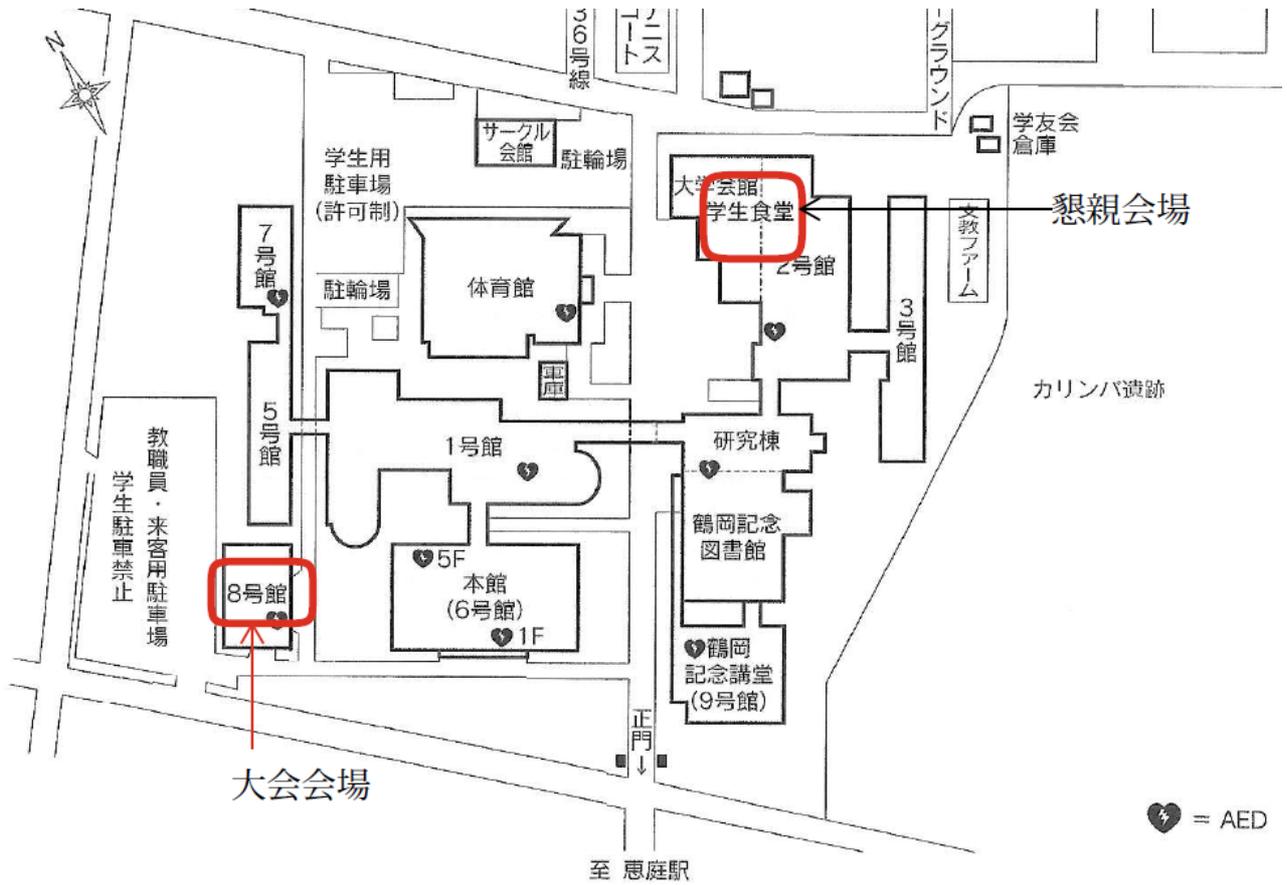
■駐車場について

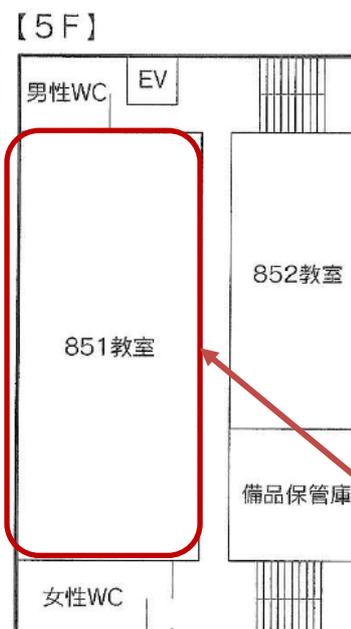
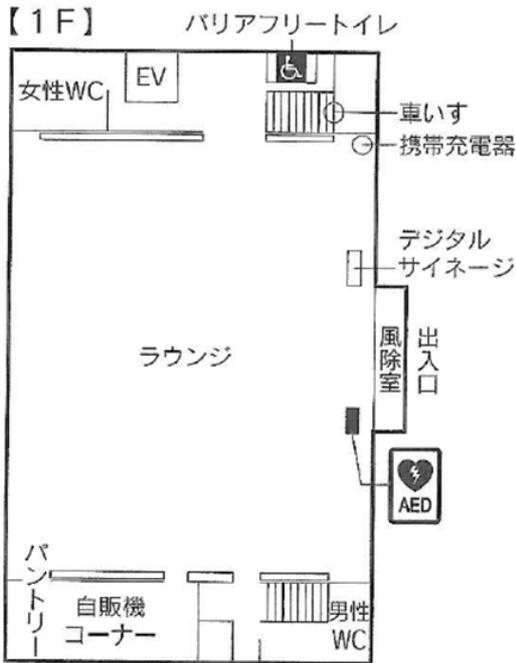
駐車場はありません。公共交通機関にてお越しください。

■昼食について

学内の食堂は利用できません。大学周辺のコンビニ等をご利用ください。

■会場図





課題研究 I
課題研究 II
総会

<問い合わせ先>

□第 15 回大会の参加・発表等に関すること

第 15 回日本学童保育学会研究大会実行委員会 委員長 宮崎 隆志

E-mail : t-miyazaki(at)t.do-bunkyo.ac.jp

(at) は @ に置き換えて下さい。

□学会・入会・会員資格等に関すること

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1 番地 京都教育大学教育学部 松本歩子研究室気付

日本学童保育学会事務局 事務局長 松本歩子

E-mail : jimukyoku@gakudouhoikugakkai.com

<学会HP>

<http://www.gakudouhoikugakkai.com/>